

試合運営及びルール（北部支部試合運営要綱）

- (1) 試合開始時間が早まることがあるので、前試合が終了後速やかにベンチ入りができるように待機すること。
- (2) 試合開始時刻30分前にネット裏テント内で主将と監督が同席の上、打順表を提出し攻守をジャンケンで決める。なお、打順表はフリガナを記入し3部提出する。
- (3) ベンチは組み合わせ番号の小さいチームが1塁側、大きいチームが3塁側とする。
- (4) シートノックは当該チームの1試合目のみ実施する。(後攻チームより5分間)
<ノッカーはチームユニフォーム着用者であること。>
- (5) 試合は春季・秋季大会は抽選でAブロック、Bブロックに別れてリーグ戦をおこない、各ブロック1位・2位チームで順位決定戦をトーナメント方式でおこなう。
3位決定戦は実施しない。
その他の試合はトーナメント方式とする。
- (6) ルールは各年度の公認野球規則・全日本軟式野球連盟競技者必携及び大会特別規則を適用する。
- (7) イニング数と試合時間
 - (ア) 学童部は7イニング、90分とする。但し、決勝戦のみ105分とする。
 - (イ) ジュニアの部は5イニング、70分とする。但し、決勝戦のみ80分とする。
新人戦（秋季大会）の順位決定戦は7イニング、90分とし、決勝戦も同様とする。
 - (ウ) チビッコの部は5イニング、60分とする。北部チビッコ大会特別要項を適用する。
各部とも試合終了時間5分前で新しいイニングに入らない。決勝戦は規定時間を過ぎて新しいイニングに入らない。試合終了時間については審判員の決定に従うこと。
規定時間が経過したら回数に関係なく正式試合とする。
- (8) 得点差によるコールドゲーム
 - (ア) 学童部（7イニング）は5イニング終了で7点差とする。
 - (イ) ジュニアの部（5イニング）は3イニング終了で7点差とする。
新人戦（秋季大会）の順位決定戦（7イニング）は5イニング終了で7点差とする。
 - (ウ) チビッコの部は適用しない。
決勝戦は適用しない。
- (9) 規定イニング数または規定時間が過ぎて同点の場合は特別延長戦を実施する。(トーナメント方式のみ)
- (10) 特別延長戦（最長2イニング迄）は無死満塁・継続打順で1イニング行う。
1イニングで勝敗が決定しない場合は更にもう1イニング行う。
特別延長戦で勝敗が決定しない場合は抽選とする。

- (11) 降雨・日没によるコールドゲームは、7イニング試合は5イニング、また5イニング試合は3イニング終了で試合成立とする。
但し、規定時間が経過したら回数に関係なく正式試合とする。
- (12) リーグ戦において同率のときはプレーオフを行う場合がある。
- (13) 選手のベンチ入りは参加登録者とする。
指導者は代表・監督・コーチ2名・スコアラー・マネージャーの計6名とする。
- (14) 背番号及びユニフォーム
(ア) ベンチ入りする選手・監督は同一のユニフォームを着用する。
チビッコの部においてはこの限りではない。
(イ) 背番号は主将10番・監督30番・コーチ28番、29番とする。
- (15) アピールできるのは監督と当該プレーヤーとする。
- (16) 投球回数の制限
(ア) 投手の投球回数は、学童の部、ジュニアの部、チビッコの部とも、7イニング試合は1日7イニング以内、また5イニング試合は1日5イニング以内とする。
(イ) 選手の健康管理には、各チームの責任において充分配慮すること。
<延長戦及び特別延長戦も投球回数に含む>
- (17) 投手は変化球を投げてはいけない。
- (18) ベースコーチは選手が行う。
- (19) ファールボールは飛んだベンチ側が回収する。バックネット側は攻撃側が回収する。
- (20) 試合球はJ S B B公認C号球を使用する。
- (21) 金属バット・ヘルメット・マスク・プロテクター・レガード等の用具は連盟公認（J S B Bマーク入り）を使用する。
- (22) 打者・次打者・走者及びベースコーチはヘルメットを着用する。
- (23) 捕手はマスク・ヘルメット・プロテクター・レガードを着用する。
- (24) 選手は金属製スパイクを使用できない。

平成15年6月1日 改定

平成20年3月16日 改定（アンダーライン部）

平成22年3月21日 改定 メンバー表部数2部→3部に変更